

平成28年度病害虫発生予報第8号

平成28年11月1日
愛知 県

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い	+

・防除対策

[ウンシュウミカン・ミカンハダニ]

収穫前日数に注意して、ダニエモンフロアブル、スターマイトフロアブルなどで防除しましょう。

・留意事項

ナシうどんこ病の発生が多くなっています。また、ナシ黒星病の発生が多いほ場もあります。罹病落葉が次作の伝染源となるので、落葉はほ場外に持ち出し処分しましょう。

ナシ、モモやカキでカイガラムシ類の発生が多いほ場では、粗皮削りを行った後にマシン油乳剤95などを丁寧に散布して防除しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	軟腐病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	べと病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	アブラムシ類	多い	県全域	10月下旬の発生量は多い	+
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	黒腐病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量は平年並か少ない	＋ ±～－
	菌核病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は平年並か少ない	± ±～－
	コナガ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は平年並か多い	± ±～－
	黄化葉巻病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 10月下旬のコナジラミ類の発生量はやや多い	± ＋
	コナジラミ類	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い	＋
ナス (施設)	うどんこ病	少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない	－
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	うどんこ病	少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない	－
	べと病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は平年並か多い	± ±～－
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない	－

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年並	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	－ ＋
	オオタバコガ	平年並	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	－ ＋

・防除対策

[ハクサイ・軟腐病]

収穫前日数に注意して、バリダシン液剤5、ジーファイン水和剤やコサイドDFなどで防除しましょう。銅水和剤を用いる場合、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

[ハクサイ・アブラムシ類]

本日発表の「平成28年度病害虫発生予察注意報第7号」を参照してください。

[ハクサイ・コナガ]

収穫前日数に注意して、パダンSG水溶剤やディアナSCなどで防除しましょう。

[キャベツ・黒腐病]

本日発表の「平成28年度病害虫発生予察注意報第8号」を参照してください。

[トマト（施設）・黄化葉巻病]

発生しているほ場では、発病株は見つけ次第抜き取り、適切に処分するとともに、媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底しましょう。

[トマト（施設）・コナジラミ類]

ディアナSCやベネビアOD（ミニトマトは除く）などで防除しましょう。訪花昆虫などを利用する場合は、影響日数に注意して農薬を選定しましょう。

・留意事項

虫媒伝染性ウイルス病のキュウリ黄化えそ病（MYSV）が発生しているほ場では、発病株を抜き取り適切に処分するとともに、媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を徹底しましょう。

イチゴのハダニ類はやや少ない状況ですが、多発すると防除が難しくなります。発生を確認したら、速やかに系統の異なる薬剤でローテーション防除しましょう。

フェロモントラップにおけるハスモンヨトウとオオタバコガの誘殺数がやや多い状況です。ほ場での発生に注意して、早期発見、早期防除に努めましょう。

参考

東海地方 1 か月予報 (名古屋地方気象台10月27日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 40% 平年並 : 40% 高い : 20%

〔降水量〕 少ない : 40% 平年並 : 40% 多い : 20%

〔日照時間〕 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。